

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズすてっぷ とうひ		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月17日		～ 令和7年 10月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 9月17日		～ 令和7年 10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 11月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	楽しみながら経験できる活動プログラム	言語聴覚士や保育士などの専門職が連携し、遊びや創作、運動を通して子どもが楽しみながら学べる活動を工夫している。子どもの発達段階に応じた療育的支援を取り入れている。	専門職の知見をさらに活かし、個々の課題に合わせた活動内容を計画的に見直し、達成感や意欲をより高めていく。
2	子どもが安心して過ごせる環境	子どもの気持ちを尊重し、安心して過ごせるような声かけや環境づくりを意識している。落ち着けるスペースの確保や個々のペースに合わせた支援を行っている。	定期的に支援環境を見直し、より安心して自己表現ができる空間づくりを進めていく。
3	職員間のチームワーク	毎日の打ち合わせや記録共有を徹底し、職員間で情報を共有して一貫した支援を行っている。お互いの意見を尊重し合い、協力しながら支援している。	定期的な事例検討や外部研修を通じて、支援の統一と職員のスキルアップを図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流したり学び合える機会の提供が十分に行えていない。	個別対応が中心となり、保護者が集まる時間や機会を設けることが難しい状況にある。	地域の講座や交流会情報を提供し、今後は事業所内でも小規模な交流や意見交換の場を検討していく。
2	職員間での情報共有はできているが、効率的な仕組みになっていない。	日々の口頭伝達や記録共有に時間がかかり、同じ内容を複数回確認する場面がある。	情報共有の方法を整理し、必要な内容を分かりやすく共有できる仕組みを整えて業務の効率化を図る。
3	毎日の会議で振り返りは行い、記録様式も統一しているが、内容整理や共有に時間がかかる。	会議で多くの意見が出る一方、要点整理や全体への共有に時間を要している。	振り返りの目的を明確化し、進行や記録の分担・要点化を図ることで、会議時間の短縮と共有の効率化を進めていく。